

HS-9868 福岡氏IOL摘出鑷子



全長：148mm、先端部：4.8mm/先端部：ステンレス、ハンドル部：チタン合金

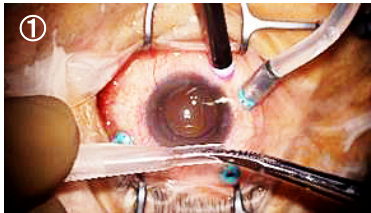
IOL脱臼やIOL交換等の症例において、従来のレンズカッターによる切断等と代わる新しい器具です。IOLカートリッジと併用する事で約3.2mmの切開創から摘出する事が可能となります。これにより前房内での操作を減らすことができ、より低侵襲な手術が可能です。虹彩上にIOLを引き上げた後に使用したり、2手法にて硝子体腔（虹彩下）から直接摘出することもできます。

御考案・御指導：国分寺さくら眼科 院長 福岡佐知子 先生

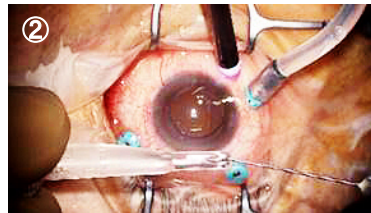


¥140,000

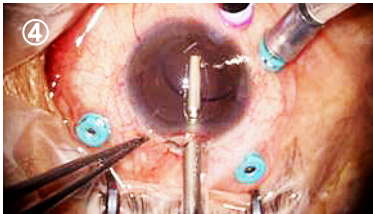
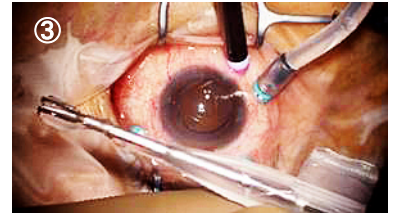
カートリッジと鑷子によるIOL摘出法



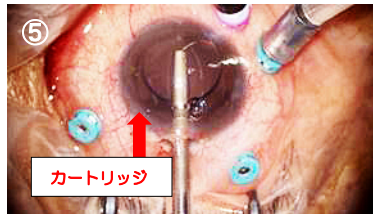
① カートリッジ先端部に切り込みを入れます。
(よりスムーズに摘出する為)



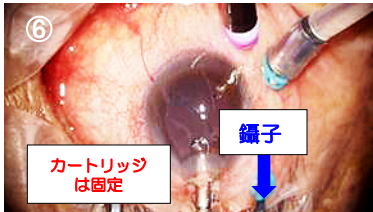
② カートリッジに粘弾性物質を注入し、次に鑷子をカートリッジに通します。
(これによりカートリッジ内への虹彩陥屯を予防します。)



④ 鑷子を前房に挿入し、IOL光学部中心を把持します。

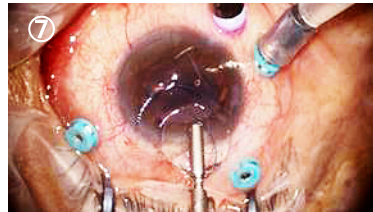


⑤ カートリッジ先端を前房に挿入します。



⑥ カートリッジは固定

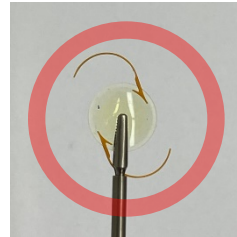
鑷子



⑦ カートリッジを手で固定しつつ、IOLを把持したまま鑷子をカートリッジから引き抜きます。

手術の注意点！

- PMMA等折りたためないIOLには、使用出来ません。



左図：ループの根元を把持すると、対側のループがまっすぐ伸び、安全に摘出しやすい。
右図：ループから離れた所を把持すると、ループが上下方向に折りたたまれ、角膜内皮細胞や虹彩損傷を起こすので注意が必要。

※カートリッジのIOL摘出使用は、通常の用途と異なりますので、了承の上でご使用ください。

2019 Ophthalmic Surgery Film Award
in KYOTO
2019.10.25